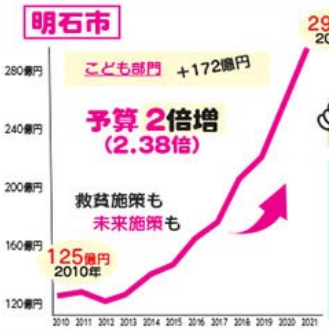
兵庫県 明石市の「こどもを核としたまちづくり」

今年の8月3日に、前明石市長 泉 房穂 氏の「こどもを核としたまちづくり」の明石市の取り組みの勉強会に参加してきました。明石市は人口約31万人です。大垣市は人口約16万人で、下の表の明石市の数字の半分が大垣市の目標の数字となります。

お金は「ある」！



時代に応じて重点分野に

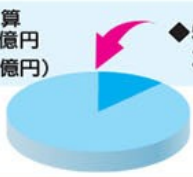
5つの無料化　年34億円

Point　すべて　所得制限なし　自己負担なし

1. 医療費　高校生まで完全無料
2. 給食費　中学生　完全無料
3. 保育料　第2子以降完全無料
4. 遊び場　親子とも利用料無料
5. おむつ　満1歳まで無料（宅配も）
（保健師等が対象家庭を見守り訪問）

やりくりすればお金は「ある」！

明石市の年間予算概ね　約2,000億円
（大垣市は約1,000億円）



◆5つの無料化
34億円程度

総額の1.7%

家計をやりくり

子育て世帯に置き換えると…

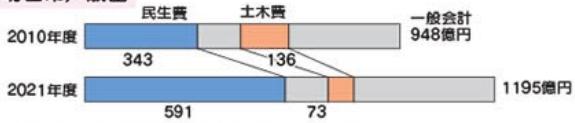
年収600万円の家族の場合

子どもの習い事に■月8,500円

総額の1.7%

明石市では予算をシフト！ ― 民生費７割増　土木費半減 ―

明石市／歳出



参考

家族関係社会支出対GDP比（2017年）

日本	イギリス	フランス	スウェーデン
1.56%	3.24%	2.88%	3.40%

日本は諸外国の半分以下!!

明石市 児童相談所の改革

- 自治体として９年ぶりに設置
- 市内中央JR駅前の一等地に開設
- 子育て支援センターも併設

・定員30名 人口比にして東京の７倍
・学校現場と連携して 保護中も小中学校に通学可能
・一時保護の第三者チェック
2021年開始　こどものための第三者委員会　全国初

全国初
常勤弁護士も複数設置
↓
日々のケースワークに携わることが重要

一時保育所も同時整備
里親センターも併設

明石市職員数は国基準の２倍以上で開設　全国初

	児童福祉司	児童心理司	保健師	弁護士（常勤）	児童指導員
2019年4月1日開設時	18人	8人	4人	2人	20人
国の基準	8人	4人	1人	弁護士の配置又はこれに準ずる措置	6人
さらに医師・教職員・元警察官・看護師 助産師、家庭児童相談員等も配置					
2021年市児相	27人	11人	6人	2人	22人

大垣市も中核市になって、子どもたちや市民のために「児童相談所」や「保健所」を設置しよう！
（平成27年4月1日から中核市の基準は「人口30万人以上」→「人口20万人以上」に緩和されました。）

赤鉛筆　「大垣市 子育て日本一」の『看板に偽りあり』！

子育て関連の予算を2倍に、人員を3倍に！「お金がない」「人が足りない」はウソ！

大垣市は「子育て日本一」を標ぼうしています。『看板に偽りあり』です。「岐阜県一」でも「西濃一」でもありません。私は大垣市と明石市を比較して、「大垣市は今こそ子育て関連の予算を2倍に、人員を3倍にする時だ」と痛感しました。

明石市は、10年連続人口が増加しています。出生率1.70（中核市の人口増加率日本一）です。主要税収入が8年で32億円増加し、貯金に当たる基金が10年で51億円増えました。（70億円→121億円に）「こどもを核としたまちづくり」を中心に据えた「都市経営」が好循環で拡大しています。　――前明石市長の泉 氏は次のように語っています。――

泉さんは話し方がタレントの明石家さんまさんにそっくりでした

「『とはいえ予算が…』『人手が足りない』『結局、何かを犠牲にしないとできるわけがない』。そのどれもが凝り固まった『思い込み』です。まずこの思い込みを捨て、発想を切り替える。本当は既にあるのに、使い方が間違っているだけなのです。明石市の子ども施策にかかわる市の職員は2010年に39人でした。それを2021年には135名、3倍に増やしました。増やしたのは一般の行政職員だけではありません。弁護士や医師、福祉職や心理職など、専門職を全国公募で採用しています。『数』を増やすだけでなく『質』も高めていきました。つまり、市長に就任してから10年ほどで、明石市は子ども関連の予算を2倍以上に人員は3倍以上にできたのです。

私も最初は『金がない』『人が足りない』という話を真に受け、勘違いしてました。当初は『本当にない』と信じて動き回りましたが、なかなかうまくいきませんでした。でも、ようやく本当のことに気が付いたのです。端的に言うと、お金はある。人もいる。お金も人も『別のところに置かれているだけ』だったのです。」

WIND いっしょに風を創ろう　岡田まさあき
〒503－0824 大垣市旭町1丁目5番地TEL 71－8677　FAX 75－2455
ホームページが新しくなりました　公式YOUTUBE　ご意見ご質問はEメール